

「SERS技術を応用した高感度センサー開発に関する国際フォーラム」

2006年8月25日



写真左 9.11テロの時に駐米大使だった柳井俊二・国土安全対策委員会委員・三菱電機(株)社外取締役も駆けつけ、対テロの国内外の動きや地雷除去への取り組みを熱心に訴えた。

主催：財団法人未来工学研究所
協賛：株式会社アイ・ピー・ビー、ナノフォトニクス・ラボラトリー株式会社
後援：経済産業省・文部科学省・国土交通省・厚生労働省・日本経済新聞社
日時：平成18年8月25日(金) 会場：パン・パシフィックホテル(横浜)

講演者

尾崎幸洋 関西学院大学理工学部長
マーティン・モスコヴィッツ カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授
福井萬壽夫 徳島大学教授
原口雅宣 徳島大学助教授
ウラジミール・ポポニン ナノフォトニクス・バイオサイエンス社CEO
リチャード・マティウス カリフォルニア大学バークリー校教授
瀬戸康雄 警察庁科学警察研究所法科学第三部化学第四研究室長



超高感度センサの土台となるSERS(サーズ：表面増強ラマン分光法)と呼ばれる基礎技術は認知度が低く、これまで表舞台に出てくることはなかった。今回、フォーラム第1部では、国内外より7名の第一線の研究者を招き、SERSの歴史に始まり、原理と基礎技術の現状、今後の技術開発の方向性の報告、最後に科学警察研究所でのバイオテロ対策センシングの現状と将来展望の披露と言う贅沢な企画が初めて実現した。第2部リセプションでは、IPB技術アナリストによるSERSならびにプラズモン共鳴関連特許1000件の関連性構造分析などの定量的分析の数々が披露され、議論も熱く盛り上がった。



「SERS技術の最新動向に関する国際フォーラム」

2007年3月7日



主催：財団法人未来工学研究所
協賛：株式会社アイ・ピー・ビー、ナノフォトニクス・ラボラトリー株式会社
後援：経済産業省・文部科学省・国土交通省・厚生労働省・日本経済新聞社
日時：平成19年3月7日（水） 会場：東海大学校友会館（霞ヶ関ビル33F）

講演者

尾崎幸洋

マーティン・モスコヴィッツ

ウラジミール・ポポニン

リチャード・マティウス

石川 満（みつる）

山田 淳（すなお）

来賓

アラン・ルドキスト

板生 清

関西学院大学理工学部長

カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授

ナノフォトニクス・バイオサイエンス社CEO

カリフォルニア大学バークレー校教授

産業技術総合研究所 四国センター健康工学センター

九州大学 大学院工学研究院 教授

米国環境保護庁（EPA）米国大使館 訪問研究員

東京大学名誉教授・東京理科大学教授、NPO法人「ウイン」理事長



3月7日、霞ヶ関ビル33Fにて、昨年8月に続き、第2回SERS国際フォーラムが開催され、隻数が足りないほどの大盛況を収めた。IPBが2004年から支援してきたポポニン博士の1分子同定の最新データに注目が集まった。アーミテージレポートを受けて緊急招集された内閣府国土安全対策委員会でもこの話題は取り上げられ、米国大使館からも本フォーラムに米国環境保護庁研究員が駆けつけたほどである。

第2部リセプションでは、IPB技術アナリストによるSERSならびにプラズモン共鳴関連特許1000件の関連性構造分析やインテル社を例にとつてのアライアンス分析などの定量的分析の数々が披露され、議論も熱く盛り上がった。